

維摩居士像

国宝

この素晴らしい像は、維摩居士の像である。維摩居士は裕福な仏陀の支援者で、ヴィマラ・キールティとも呼ばれる。高さ約 90 センチメートルのこの像は、奈良時代（710～794）の後期に制作されたもので、奈良の興福寺における維摩居士信仰とも関係があると考えられている。この聖人像は細かなディテールまで精緻に彫り上げられている。衣の表現は写実的で流れるようであり、また開いた口はまるで信者たちに向かってしゃべりかけているかのように見える。

当初、研究者たちは、この像は乾漆造だと考えていた。しかし、X線やCTスキャンでの調査の結果、この像が木彫であることが専門家によって確認された。2017年に国宝に指定された。